

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	膵癌における腫瘍マーカー高値の意義の解明			
2. 対象患者	2010年から2019年の間に、当科において膵癌に対して手術をされた方を対象とします。			
3. 対象となる期間	倫理委員会承認日～令和4年3月31日			
4. 実施診療科等	弘前大学医学部附属病院 消化器外科,乳腺外科,甲状腺外科			
5. 研究責任者	氏名	脇屋 太一	所属	消化器外科,乳腺外科,甲状腺外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	本研究は弘前大学のみで実施されます			
7. 研究の意義	膵癌の予後向上は全世界の喫緊の課題です。血液検査でわかる腫瘍マーカーが高いことは、膵癌の予後不良因子、手術後早期再発予測因子として知られています。しかし、「なぜ腫瘍マーカーが高くなるのか?」、「腫瘍マーカーが高いとき、腫瘍のどの機能が活発になっているのか?」はよくわかっていません。これらの問いに対する答えは、膵癌治療の成績向上に向けた糸口となる可能性があります。 臨床学的知見に、膵癌の病態の本質に迫る基礎的知見を加え、膵癌全体の予後向上を目指す点に、本研究の意義があります。			
8. 研究の目的	①腫瘍マーカーの多寡に関わる臨床病理学的因子を明らかにすること、 ②膵癌切除組織を用いた蛋白発現解析から腫瘍マーカー高値の分子機構を解明することを本研究の目的とします。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	通常診療の範囲内で得られた既存の情報を解析します。介入を行わず、新たに試料採取は行いません。カルテを利用し、病歴、年齢、性別、血液検査、画像検査、手術関連情報、病理検査、蛋白発現などの情報を使用します。			
10. 個人情報の保護	患者さんの名前をふせて(匿名化)、臨床情報を使用します。匿名化するための対応表は保護をして講座内に保存されます。患者さんが解析対象となることを望まない場合、研究対象から除外します。診療情報の利用について拒否の申し出をされた場合であっても、当科での診療において何ら不利益を受けません。一旦同意しても、いつでも理由を問うことなく、自由意思で撤回できます。			
11. 利益相反に関する状況	本研究は通常の診療範囲内で行われるため、特別な資金源を必要とするものではありません。起こり得る利益相反について特記すべき事項はありません。			
12. 連絡先	消化器外科,乳腺外科,甲状腺外科 脇屋太一			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080